久屋小だより

～気づき　考え　みんなで創り出すⅢ～　令和５年　６月号

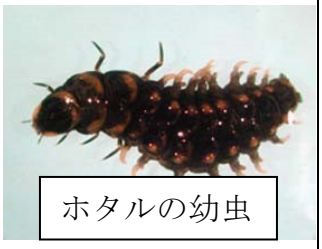
「気づき　考え　みんなで創り出す」㉗

～全校朝礼「校長先生の研究を聞かせて」～

ある５年生の男子と，「今年も夏休みの研究をがんばってね。校長先生も研究をしているんだよ。」と話をしました。このとき，その５年生の男子に「校長先生は何の研究をしているんですか？」と聞かれたので，「じゃあ，せっかくだから全校朝礼でみんなに話をするわ。」と答えました。

ということで，５月の全校朝礼は，「校長先生が研究していること」について子どもたちに以下のような話をしました（概要）。昨年度の全校朝礼で**「気づきは学びを創る」**というテーマで話をしましたが，その第２弾のような話です。

校長先生の家の近くには川があります。昔はある虫がよく飛んでいました。何だと思いますか。それは「ホタル」です。飛んでいるホタルのほとんどはオスで，メスは葦（よし）に止まっているんだよ。発光がうまく重なり合ったときにカップルになるんだ。しかし，どんどんホタルの数が減ってきています。校長先生は，その川を再びホタルがたくさん飛び交う川にしていきたいと思いました。**（「気づき」の話）**



ホタルの幼虫

では，どうやってホタルを増やそうかと考えました。２つのことを考えました。１つ目は，「ホタルを飼育すること」です。自分で下の写真のような飼育セットを作ってホタルの幼虫を産ませたいと考えました。植木鉢の中には，こけが入っていて，このこけにメスが産卵するんだ。そして，ふ化した幼虫が植木鉢の穴から下にセットしたお碗の中に落ちていくというしかけになっているんだ。

ホタルの飼育セット

２つ目は，「ホタルの好きな川を調べること」です。産まれたホタルの幼虫を適当に川にもどしても幼虫は育たないと思います。そこで，ホタルの好きな川を図鑑やパソコンを使ったり，よく飛んでいる川へ行ったりして調べました。すると，ホタルの好きな川は「川岸に産卵のためのこけが生えている。」「こけを作りやすくするために，川に陰ができるほどの木が生えている。」「えさになる川にながいる。」「メスが止まる葦（よし）が生えている。」ことが分かりました。このような環境を整えている川に幼虫を放せば，もしかしたら再びホタル

川にな

が多く飛び交う川を取り戻せるかもしれないと子どものようにワクワクしています。（「考え」の話）
　さてここから，ホタルの幼虫を産ませて，ホタルの好きな川に放して，ホタルが飛び交う川を創っていく校長先生の取組がはじまります。６月，まずはオスホタルとメスホタルをこの植木鉢の飼育セットに入れるところからはじめます。

「気づき」から「思考」が生まれ，その思考が「自分のくらしや学びを創り，豊かにしていく」ことに気づいてくれた子どもはきっといると思います。SDGS にもつながると思います。

子どもたちの科学的な好奇心をかきたてることが多少はできたのではないかと思っています。最後まで，私の研究の話を聞いてくれました。

夏休み，科学探究・自然探究に挑戦してみてください。

学校じまんビンゴ大会

５月２２日（月），３・４年生が学習の一環として「学校じまんビンゴ大会」をしました。道徳の学習をきっかけにして，「全校みんなが，学校の自慢に気づきながら楽しめる活動をしたい。」と*気づき*，「じゃあ，学校じまんビンゴ大会をしよう。」と*考え*，この「学校じまんビンゴ大会」を*３・４年生みんなで創りました*。

『気づき　考え　みんなで創り出す』につながる素敵な学びでした。

また，全校みんなの幸せを願って開催したビンゴ大会です。この意識を今後は，総合的な学習の時間での『福祉学習』につなげていく３・４年生です。道徳，総合的な学習の時間を相互に関連させた横断的な学習により，学びの有効性は一層高まっていくと思います。

修学旅行

６年生　みんなそろってハイチーズ

６年生が修学旅行に行きました。新型コロナウイルス感染症５類移行に伴って，今年度は広島方面を行き先として修学旅行を実施しました。

１日目は，広島平和公園と宮島へ行きました。平和の尊さや平和の社会を創るために一人一人が考え，取り組んでいかなければならないことを学びました。宮島では，世界遺産の壮大さにふれ，文化を守ることの意味を知りました。お土産もたくさん買いました。２日目は，広島空港とみろくの里に行きました。広島空港のしくみについて説明を聞いたり，デッキで見学をしたりしました。みろくの里ではとにかく遊んで，楽しい時間を過ごしました。

中国地方の他県にある伝統文化や技術，魅力をたくさん肌で感じて帰ってきました。いつまでも思い出に残ることでしょう。